

---

## 作者&友人...そして例のキャラ達の紹介

エンディング・ED

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

作者&友人：そして例のキャラ達の紹介

### 【Nコード】

N9706X

### 【作者名】

エンディング・ED

### 【あらすじ】

この小説は 作者が出す予定のキャラ達と…作者の友人達の紹介文です（笑）  
インタビューの様な形式で行きたいと思います！

1 作者とその友人（早速グダグダだ〜）（前書き）

エン「こんにちは、作者です！ここはただの自己紹介です〜」

OP「読み流しても良いって言う人は、どうぞ！」

エン「…次のは暫くかけないかも〜」

作者以外全員「オイ！！！」

# 1・作者とその友人（早速グダグダだ〜）

ここは　とある洞窟の中にある、居住スペース。

そこにいる人物こそ、作者である。

マリオ「え〜…早速、突撃インタビューします（ったくよ…何で俺が…）」

マリオ「…で、あんたが作者だよな？」

エン「その通りですよ　私はエンディング！」

（　ここら辺はほぼマリオの視点です；）見た目は普通の男。黒すぎる茶髪で、目は普通。何故か俺達がかぶってる帽子と似たのをかぶってるんだよな；  
模様はEが傾いた様な感じで…色は青だ。

マリオ「一つ聞いたかったんだが…その帽子はどうしたんだ？」

エン「作っただですよ　」

OP「手先は器用なんだよな　」

マリオ「誰だよ!？」

OP「俺はOP!…こいつ（エンディング）の友人だよ　」

…こいつも同じ様な帽子をかぶってやがる…。色はオレンジで…模様

は…Oだな。

マリオ「…仲良いんだな…」

OP&エン「…もっちらん」「…」

マリオ「じゃあ最後に…それぞれをポケモンに例えてみてくれ。」

OP「エンディングは喋り方が正体現す前のヨノワールだよなww  
w」

エン「OPは…性格からして…ギャロップ（ ）でしようかねえ…。  
」

マリオ「…成る程な…え〜と…そろそろ次に行くんだけど…」

OP&エン「…じゃあ一緒に行こう…」「…」

マリオ「どっやってだよ…」

OP&エン「…これ（スクーター）で！」「…」

…現実では運転できません…

マリオ「…じゃ、じゃあ出発な…」

OP&エン「…ヒアウィゴー」「…」

そして…グダグダした自己紹介の旅が始まった…；；；

次回：有名な兄弟の住む王国へ！！

1・作者とその友人（早速グダグタだ〜；）（後書き）

マリオ「なあ…次ってまさか…」

エン「それは言わない事！！！」

OP「それでは、次回をお楽しみに」

1・5・王国へと向かう道中の悲劇(前書き)

エン「前回の続き書くぞー!!!!」

マリオ「何かやる気マンマンだな」

OP「そりゃあ…暇だからな。」

マリオ「オイ!!!!」

## 1・5・王国へと向かう道中の悲劇

…前回から数分しか経ってないが…マリオはOPにマイクを渡した  
(笑)

マリオ「何でなんだ？」

OP「そりゃ、次にマリオの紹介とかがあるからな。」

マリオ「…やっぱ次って…」

エン「言うなよ!？」

マリオ&OP「良いから前向いて運転しろよ!!!」

マリオ「やっぱ俺…あつちに乗らなくて良かったわ…」

そう、それは数分前

エン「出発準備OK」

OP「マリオ!俺の後ろに乗れよ」

マリオ「何で？」

OP「………地獄を見たくないなら乗れ…」

マリオ「え…あ…お、おう…」

そして現在

マリオ「にしても知らなかったぜ…。まさかここまで…」

ぼやくマリオの視線の先にいるのはエンディング。周りの土管を危なっかしく避けている。

OP「あ、気をつける…！ジャンプ台あるから…！！」

叫んだが遅かった様だ。エンディングは見事に後輪を土管に引っ掛けている。

エン「え、ちょ、あ…」

エンディングは土管に入ってしまった。二人は顔を見合わせ、出口の土管付近で待機していた。

エン「コイン大量に拾ったぞ」

と、エンディングは出てきた。何故かボム兵を連れているのには触れず、三人はそこを後にした。

そして やつと次の場所へと辿りついた。

次回…やっと平穏なインタビューが…

1・5・王国へと向かう道中の悲劇（後書き）

マリオ「てか何で一回もブレーキ使わないんだよ!!!」

エン「何か嫌なんですよ!?!」

OP「何だろうちのグダグダ感（笑）」

???「早く出して欲しいなあ...」

## 2・王国に住むキャラ達!!!(前書き)

エン「今日は張り切って二つ目!!!やっとアイツが…!!!」

マリオ「誰だ???」

エン「……………良く知ってる筈ですがねえ…。」

## 2・王国に住むキャラ達!!!

ドタバタとした移動からさらに少し。三人が着いたのは……

マリオ「やっぱり、キノコ王国じゃねえか!!」

そう、我等がスーパー・スター・マリオの出身である、キノコ王国である。早速、キノピオ達が話し掛けてきた。

キノ1「あ、マリオさん!!おひさしぶりです!!」

キノ2「お元気でしたか?」

マリオ「おう!!お前等も元気そうだな。」

三人が話している間に、エンディングとOPは目的の場所へと向かった。

〈場所：マリオの家〉

OP「…という訳で、マリオの家の前へと来ました。」

エン「彼はいるのかなあ?????」

OP「ノックしよう (トントン) 」

……。

エン「…留守?」

OP「よし、入ろう。」

エン「いやいやいや!!それは流石に!!」

OP「クツパだって何回も不法侵入してんじゃない?俺等だって大丈夫だろ」

そして、二人は不法:ゴホン、アポ無し潜入をした。

エン「ルイ君いるかな?」

OP「いたいた 寝てるけど。」

ルイ君こと、ルイージは:ソファーでお昼寝中の様だ。可哀想だが、起こさなければ;

エン「ルイくん、起きろー。」

ルイ「ん...??誰!??」

OP「俺等だよ ほら自己紹介」

ルイ「え...あ...。僕はルイージです...。」

エン「因みに彼のお兄さんはマリオです」

OP「次は:この城まで案内してくれ」

ルイ「何で僕に:??」

エン「君のお兄さんとはくれたんですよ（笑）」

まあ実際には置いて来たただけなのだが；

OP「さあ出発だー」

エン＆ルイ「ちょ、無理やり引つ張らないでよ!!!」

二人は見事なハモリを見せながら、OPに引つ張られていった。

（場所：キノコ城（あれ、ピーチ城だっけ；））

OP「おお…広い!!!」

ルイ「多分ロビーだけで…僕等の家が十個は入ると思うな；」

それは流石に無いだろう；

エン「あれ？あそこの茶色いキノコ…キノじいじゃない？」

三人で近寄ってみた。キノじいだった；

キノ「おお、何をしとるのかね？」

OP＆エン「インタビューの様なモノですねえ…」

…彼はキノじい。恐らく最高齢ではないだろうか；ピーチ姫のじいやさんだ。

ルイ「あの…：ピーチ姫は？」

キノ「謁見の間じゃろうから…：行ってみると良い。」

ルイ&OP&エン「ハハイ！！！！」

三人はキノじいと別れて、謁見の間へと向かった。

〈場所：謁見の間（多分、ゲーム中には無いと思われます…）〉

三人は、謁見の間でくつろいでいる女性を発見した。彼女こそ、プリンセス・ピーチである。

ピーチ「あら…：何か用かしら？」

OP「色々と自己紹介してもらってます！ピーチ姫もどうぞ！」

ピーチ「私はピーチ。キノコ王国の未来をいつも祈ってます…。」

そこへ…：ガシャッ！！！！と音がして、ガラスの破片が散った。

エン「いったー！！？刺さった！！」

ピーチ「何事ですか！！？」

??「ガッハッハッハ！！ここにいたのか！！」

インタビュー「最中に入ってきた影…：それは、クッパ！！クッパは姫を搔っ攫っていった！！！！」

ルイ「あ……姫……!!」

OP「何でいつも波乱の展開に!?!」

エン「どつちでも良いから追おう……!! (破片メツチャ痛い……覚え  
てるクツパ)」

そして、三人はクツパクラウンの影を追いかけた。

次回……あの城への潜入……

## 2・王国に住むキャラ達！！！（後書き）

マリオ「なあ…途中から俺、空気になってないか？」

エン「き、気のせいでしょう？？」

ボム「……。」

OP「いやいや喋れよ…）ED化しなきゃ良いけどな」（

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9706x/>

---

作者&友人...そして例のキャラ達の紹介

2011年10月28日17時04分発行